

1～4号機では燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況や様々な取組みをお知らせしています。

■ 本号の内容

2026年8月3日 発行

- 廃止措置の進捗状況について
- 使用済燃料プール冷却停止の原因と対策について
- 発電所 副所長の交代について
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 福島県産品の所内販売会を開催しました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



空へこぎ出す
特等席♪

富岡公園絶景ブランコ 撮影時期:2026年 5月 撮影場所:富岡町小浜中央



福島第二原子力発電所の
ホームページはこちらから
ご覧いただけます
<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>



バックナンバーは
こちらからご覧いただけます
[https://www.tepco.co.jp/2f-np/
visual/magazine/](https://www.tepco.co.jp/2f-np/visual/magazine/)

廃止措置の進捗状況について

2021年6月より廃止措置を進めており、現在、使用を終えた設備の解体撤去や汚染状況の調査を行っております。

廃止措置の進捗状況は、定期的に福島県にも確認いただいております。今回は軽油タンクの解体状況や原子炉格納容器から採取した試料の輸送準備を確認いただきました。引き続き、安全最優先で廃止措置を進めてまいります。

＜軽油タンクの解体撤去＞

2026年7月末までに、軽油タンク8基中、1基の解体撤去が完了しました。



上：軽油タンクの解体撤去作業

左：軽油タンク解体撤去後の状況確認

＜汚染の浸透度合いの調査＞

放射性物質による汚染の浸透状況を調査するため、原子炉格納容器等から試料（コンクリート・金属）を採取し、社外分析機関で分析を行うこととしています。

2026年6月、当所から茨城県東海村にある分析センターへ採取した試料の輸送を行いました。



福島県職員による輸送試料の放射線量測定

使用済燃料プール冷却停止の原因と対策について

4月5日、1号機冷却系ポンプ周辺からの発煙に伴い、使用済燃料プールを冷却停止しました。この件で、ご不安やご心配をおかけしたこと、改めてお詫び申し上げます。不具合は既に解消し、使用済燃料プールの冷却を再開しています。

詳細原因を調査した結果、ポンプの電動機に接続している電源ケーブルが溶断したことにより、電動機内部に流れる電流が増加・過熱されたことで発煙したことがわかりました。

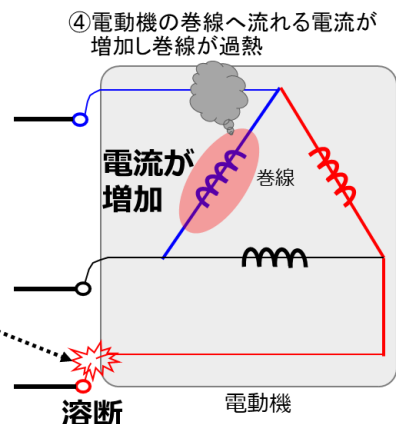
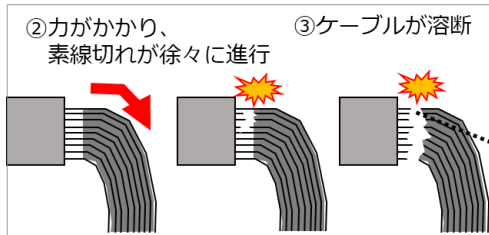
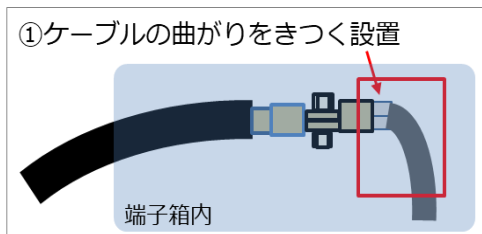
なお、電源ケーブルが溶断した原因は、震災後に津波を受けた影響で電源ケーブルを交換しており、その際、ケーブル接続部に力が加わる状態で設置したため、徐々に素線※切れが進行し、最終的に溶断したものと推定しました。

現在、類似箇所の点検を進めており、不具合が確認された場合は速やかに是正し、再発防止に努めてまいります。



公表資料はこちらから
ご覧ください

※素線:ケーブルを構成している細い電線



発電所 副所長の交代について

就任のご挨拶

6月25日、福島第二原子力発電所の副所長に就任した「林 哲也」です。

当社原子力発電所の事故により今もなお、多くのみなさまにご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

これまで福島に関係する業務に携わってきました。その中で、福島復興への責任の重さ、そして地域のみなさまとの信頼関係の大切さを強く感じてきました。

地域のみなさまとの対話を大切にしています。これからも積極的にみなさまのもとへ伺い、お寄せいただいたご意見を発電所運営の改善に活かしてまいります。今後とも、忌憚のないご意見・ご提案をいただけますようお願い申し上げます。

地域のみなさまとのつながりを大切にしながら、所員・パートナー企業と力を合わせ、福島第二原子力発電所の使命をしっかりと果たしてまいります。

◆ 略歴 ◆

1994年 4月 東京電力株式会社入社
2004年 7月 秘書部 秘書グループ
2007年 8月 用地部 不動産運用グループ
2011年 4月 福島復興本社
福島原子力補償相談室 会津若松補償相談センター他
復興調整部 地域総括グループ
2019年 7月
2021年10月 福島原子力補償相談室 広域補償相談センター 所長
2024年 7月 福島原子力補償相談室 補償相談ユニット長代理
2026年 6月 福島第二原子力発電所 副所長



はやし てつや
林 哲也

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

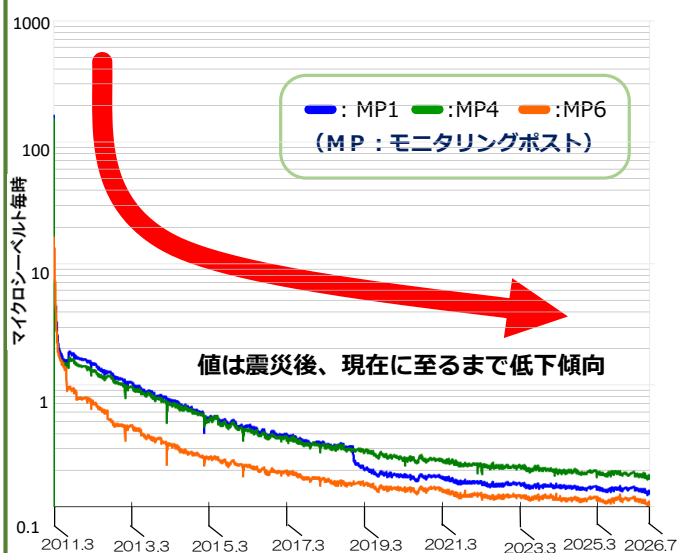
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2026年7月16日 時点

0.07 [MP7] ~ 0.19 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2026年7月16日)



参考データ

(単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター)	0.13	楢葉町 (役場)	0.07
広野町 (広野駅前広場)	0.10	川内村 (役場)	0.05

出典：福島県放射能測定マップ (市区町村別線量率一覧) より (2026年7月16日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.13
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号機

2,482体

2号機

2,544体

3号機

2,516体

4号機

福島県産品の所内販売会を開催しました

7月15日、今年度1回目となる福島県産品（川内村特産品）所内販売会を開催しました。

川内村で生産されたワインやクラフトジン、蕎麦や新鮮な野菜等、川内村の魅力が詰まった商品が並び、販売会場はパートナー企業の方々や所員で大変にぎわいました。

販売者の方々との会話も弾み、販売会を通じて地域とのつながりを深める機会となりました。

今後も、地域の特産品や魅力を発信する取り組みを継続してまいります。



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにて
お待ちしております

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりなどの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,546人※です。(2026年6月1日現在)

※1日あたりの入構者数は約750人

	東京電力HD	パートナー企業	合計
県内	350人	1,868人	2,218人(約87%)
県外	61人	267人	328人(約13%)
合計	411人	2,135人	2,546人(100%)



編集後記

7月から広報部の一員となりました白石です。福島市では5年過ごしましたが、浜通りの生活は初めてです。富岡町の住まいの近くを早朝に走ったり、車で散策をしたり、日々さまざまなものに新鮮さを感じています。先日は、川内村の天山祭りにもおじゃましました。天山文庫のかやぶき屋根、みずみずしい緑を背景にした詩の朗読や獅子舞はとても素敵でした。みなさま、これからどうぞよろしくお願いいたします。



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全第一で廃止措置を進めてまいります。

東京電力ホールディングス株式会社 公式アカウント



Facebook.com/OfficialTEPCO

公式エックス @OfficialTEPCO

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
TEL 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)